



平成22年4月1日 ▶
平成22年9月30日

ニチバンLife

中間報告書 第107期



マングローブの
植樹事業を行う
環境NGOに寄付する
「**巻心エコキャンペーン**」
を実施中!



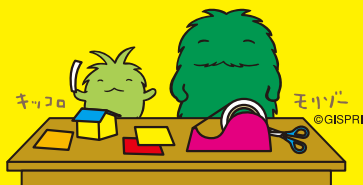
テープの巻心を集めて 緑の地球を守ろう!



かけがえのない地球と自然の豊かな恵みを、次世代に引き継ぐために、全国の小学校をはじめとし官公庁、病院、流通などの業界関係者、ならびに一般消費者に広く呼びかけるキャンペーンです。

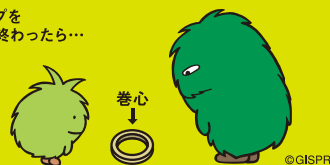
メーカーを問わず各種使用済み粘着テープの巻心を回収してダンボールへのリサイクルをおこない、その際に生じる資源回収利益金を、マングローブの植樹事業を行う環境 NGO に寄付する「巻心エコキャンペーン」を実施致します。

つかう



のこる

テープを
使い終わったら...



1 2
4 3

地球のためになる

みんなの送ってくれた「巻心」が、
ダンボールに再生されたり、
マングローブの植樹活動に
役立てられます。



おくる

「巻心」を
ニチバン巻心エコキャンペーン事務局に
送ってください。



※「巻心」を送る際の送料は
参加者負担となります。

「巻心」は地球へのプレゼント

キャンペーン期間：2010年12月1日(水)～2011年2月28日(月)

同封の
参加者シートにて
ご応募ください。

ニチバンは今後もより一層、環境配慮商品の普及と、消費者参加による環境保護活動の支援を推進してまいります。

期間中の回収目標は10万本、重さにして約1t(1本10gで換算)です。巻心1tでダンボール約700～800kgに再生可能です。(※1)

※1：財団法人 古紙再生促進センター 資料「紙のリサイクルについて」より

<http://www.nichiban.co.jp/news/10-10/01.html>

【キャンペーン特設WEBサイト】
<http://www.nichiban.co.jp/campaign/makisin-eco/>
① キャンペーンの詳しい情報はこちら!!
モバイルサイト



売上拡大と利益確保に向けて 【開発力】と【営業力】の更なる強化を

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに平成22年4月1日から平成22年9月30日にいたる

第107期(平成23年3月期)中間報告書(ニチバンLife)を

お届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

堀田 直人



当中間連結会計期間におけるわが国経済は、中国を中心とする海外市況の好調さとエコカー減税等の国内経済対策により景気は回復基調で推移したものの、記録的猛暑による農作物への影響や7月以降の急激な円高による輸出企業の業績悪化懸念など、先行き不透明感を拭えない状況で推移いたしました。

このような環境下において、当グループは「事業フィールド」戦略を着実に実行し、真の「選択と集中」を推し進め、売上拡大と利益確保に努力いたしました結果、全体の売上は190億4千1百万円と、前中間連結会計期間に比べ4.7%の増収、損益面においては、経常利益は前中間連結会計期間比52.2%増の10億3千3百万円、中間純利益は59.2%増の5億9千万円となりました。

第1四半期において売上・利益ともに上方修正見通しを発表させていただきましたが、売上についてはわずかに届かなかったものの、利益面では目標を大きく上回ることができました。

世界同時不況の影響下で厳しい経営を余儀なくされた昨年度に比べ、今年度はこの厳しさをバネになんとしても「増収増益」とするべく、【開発力】と【営業力】の強化を経営方針として掲げ、諸施策を推進してまいりました。

販売面ですが、メディカル事業分野においては、ドラッグストア店頭での高い付加価値製品の販売促進に注力し、「ケアリーヴ®」パワー&フィット」を新たに投入して救急絆創膏「ケアリーヴ」シリーズのブランド拡充を図るとともに、医療現場では安全・安心を

キーワードに低刺激製品・感染予防対策製品の普及に取組みました。

テープ事業分野においては景気回復に伴い需要が回復し幅広い分野において販売が伸長しました。食品関連向けテープは天候不順の影響を受けたものの、自動車産業向けマスキングテープが着実な伸びをみせました。またデフレ・少子化の影響を受け厳しい状況が続く文具事務用品業界へは「ふせんサプリ®」「シンブルラベル」などのパーソナル向け新製品の投入・育成に注力しております。

海外販売もアジアを中心に拡販をすすめ前年を上回る実績となりました。

加えて利益面では、一昨年より継続している体質改善策、すなわちコストダウンの促進、設備投資の選択と集中、不採算品の集約、経費の効率的費消が効果をあげております。

■ 107期下期の取組み

平成22年10月からの下期につきましては、高止まりとなった円高の影響、欧米の景気回復の遅れなど、景気の行方が非常に不透明となってきております。

また、年度後半に向けては原油・天然ゴム・樹脂など原材料価格の上昇も懸念され、再び厳しい経営環境が予想されます。

そのような中ではありますが、当グループは上期より引き続き「増収・増益」に向けて開発と営業の強化に取組みます。

特に社名の由来である絆創膏の発売90周年にあ

たる今年度は、「ニチバン」というコーポレートブランドの更なる向上を図るべく、環境への貢献・安定した品質の維持、内部統制の着実な運用に即ち注力することにより「安全で信頼されるニチバン」の認知を広めてまいります。

環境への貢献では本年12月より【巻心エコキャンペーン】を実施いたします。今まで廃棄されるだけであったテープの巻心をメーカーを問わず回収し、段ボールヘリサイクルを行い、その収益をCO₂削減のためのマングローブ植樹に活用するというキャンペーンです。業界団体様や大手ユーザー様、一般消費者の皆様まで幅広い参加を目指して全社を挙げて展開しております。

加えてメディカル事業、テープ事業それぞれにおいて「ケアリーヴ®」、「ロイヒつば膏®」、「ゼロテープ®」、「ナイスタック®」といった既存主要ブランドの活性化を図るべくラインアップの充実を進めています。また海外販売においては特にアジアに対して、“Made in Japan”の強みを活かした製品群を展開すべく、体制を強化して臨んでおります。

以上のように、下期の厳しい経営環境に対しては販売拡大のために、従来にも増した経営資源の集中を図る所存です。

今後とも適切なIR活動を通して、株主の皆様には弊社の取組みをより多くご報告できるよう努力してまいりますので、なにとぞ、格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント情報

TOPICS

メディカル事業部

Medical division

絆創膏発売
90
anniversary
周年絆創膏発売から
90周年を迎えました。

育まれて90年 これからも成長し続けます。

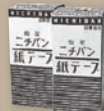
ニチバンは創業から間もない大正9年(1920)に「リボン印歌橋絆創膏」を本格発売しました。その後も絆創膏を原点として医療現場などでお客様のニーズに応え成長し続けております。これからも、お客様が求める製品を目指し提供してまいります。

大正
9年

1920

リボン印歌橋
絆創膏昭和
30年

1955



ニチバン紙テープ

クリアーplast®
(カブレ防止絆創膏)

ビニール絆

昭和
46年

1971



ニチバンホワイトテープ

平成
16年

2004



スキナゲート®



スキナゲート®メッシュ

昭和
23年

1948

昭和
32年

1957

平成
12年

2000

新製品紹介

バトルウィン® セラポア®テープ(キネシオロジーテープ)
の新機能品を発売しました。キネシオロジーテープ
セラポア®テープ撥水

撥水加工なので雨・汗がしみ込みにくく、フィット感にすぐれているため関節もスムーズに動きます。様々なスポーツシーンに集中でき、関節・筋肉をサポートします。

キネシオロジーテープ
セラポア®テープFX

はくり紙がないことで、スムーズに巻くことができ、ハサミを使わずに手で切れるため応急処置にも素早く対応できます。また余分なごみもです。環境にやさしいことも特長です。

営業概況

ヘルスケアフィールド

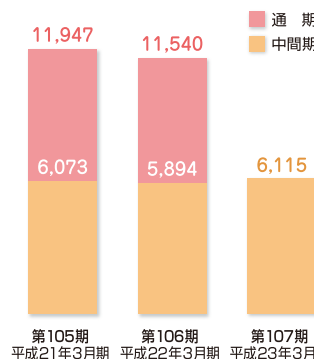
ドラッグストアを中心とした大衆薬市場におきましては、救急絆創膏「ケアリーヴ®」を中心に、ドラッグストア店頭でお客様に対して、製品の持つ高い付加価値の告知や販売促進の取り組みを重点的に行いました。その結果「ケアリーヴ®」を中心に売上は順調に推移し、新製品「ケアリーヴ®パワー&フィット」もご好評をいただいております。

医療材フィールド

医療機関向け医療材市場におきましては、医療の安全に貢献する低刺激製品・感染予防対策製品に注力した取り組みを行いました。その結果、低刺激絆創膏「スキナゲート®」シリーズ、注射や点滴後の止血に特化した製品や、点滴の際に針を固定する穿刺固定製品は、好調に推移いたしました。

売上高の推移

(単位：百万円)



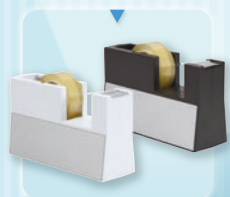
テープ事業部

Tape division

伝統的なブランドの製品に新たな光をあてました。

ニチバンでは、「セロテープ®」や「ナイスタック®」という伝統的なブランド製品の活性化に積極的に取り組み、新たな機能を付加した新製品を発売しました。お客様のニーズに応えた新機能が大変好評いただいております。

テープカッター直線美® 小巻用



少ない力でテープをまっすぐに切れる「テープカッター直線美®」を小巻用にしました。

セロテープ® 小巻ミドルサイズ



「テープカッター直線美®」小巻用に合せた従来の2倍の長さ(20m)の小巻「セロテープ®」です。

ナイスタック® はくり紙がはがしやすいタイプ



はくり紙の両サイドにのりがないので、はがしやすく、作業効率があップしました。

ナイスタック® 皮革・ゴム用強カタイプ



本皮、ゴム素材等の接着に最適な両面テープで、基材が薄いのにしっかりつきます。

新製品紹介

パーソナルユーザー向けに 使う楽しさを実現した製品を発売しました。

ふせんサブリ®



全6種類の豊富なバリエーションを揃え、仕事や勉強のさまざまなシーン別に色を使い分けられるなど、機能性も備えたカラフルで楽しいアイテムです。

シンプルラベル



素朴でやさしい風合いの和紙やクラフト紙を用いたラベルとインデックスで、ラッピングやキッチン小物、手帳やノートなど、身の回りにおしゃれを取り入れられる楽しい製品です。

営業概況

オフィス・ホームフィールド

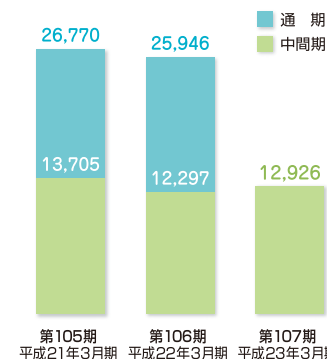
文具事務用品業界におきましては、主力商品の「セロテープ®」を中心に新規開拓の活動を積極的に行うとともに、パーソナル向け新製品の開発、育成に取り組んで参りました。中でも、色が持つ効果に着目したカラフルふせん「ふせんサブリ®」、やわらかい風合いの和紙やクラフト紙を素材とした「シンプルラベル」など、ご好評をいただいております。

工業品フィールド

産業用テープ業界におきましては、食品関連分野とマスキングテープの分野においてユーザーに向けた高機能製品拡大の取り組みを続けてまいりました。食品関連分野においては、全般的に天候不順による影響を受ける中、新機能固定用テープが拡大し、マスキングテープの分野では、自動車産業の状況回復を背景に、着実に売上を伸ばしました。

売上高の推移

(単位：百万円)



連結財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当期 平成22年9月30日現在	前期 平成21年9月30日現在	区 分	当期 平成22年9月30日現在	前期 平成21年9月30日現在
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	27,937	26,074	流動負債	11,221	10,508
現金及び預金	9,701	7,615	支払手形及び買掛金	7,002	6,496
受取手形及び売掛金	11,664	11,462	その他	4,219	4,011
有価証券	505	505	固定負債	9,872	9,766
たな卸資産	5,256	5,686	長期借入金	2,000	2,000
その他	808	804	その他	7,872	7,766
固定資産	16,345	16,536	負 債 合 計	21,093	20,274
有形固定資産	11,792	12,069	【純資産の部】		
無形固定資産	36	50	株主資本	23,298	22,417
投資その他の資産	4,517	4,416	資本金	5,451	5,451
			資本剰余金	4,186	4,186
			利益剰余金	13,666	12,784
			自己株式	△6	△5
			評価・換算差額等	△109	△81
			その他有価証券評価差額金	50	69
			為替換算調整勘定	△159	△151
			純資産合計	23,189	22,335
資産合計	44,283	42,610	負債純資産合計	44,283	42,610

損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当期 平成22年4月～平成22年9月	前期 平成21年4月～平成21年9月
1 売上高	19,041	18,192
1 売上原価	13,546	13,135
売上総利益	5,494	5,056
販売費及び一般管理費	4,451	4,369
1 営業利益	1,043	687
営業外収益	84	67
営業外費用	94	76
経常利益	1,033	678
特別利益	69	2
特別損失	76	27
税金等調整前四半期純利益	1,025	653
法人税等	435	282
2 四半期純利益	590	370

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当期 平成22年4月～平成22年9月	前期 平成21年4月～平成21年9月
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,514	1,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△671	△968
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302	△588
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△2
現金及び現金同等物の増減額（減少は△）	540	37
現金及び現金同等物の期首残高	9,251	7,471
2 現金及び現金同等物の四半期末残高	9,792	7,508

POINT

1 売上高は、景気の一部回復もあり堅調に推移し対前期4.7%の増収、営業利益については、コスト削減効果等もあり対前期51.9%の増益となりました。

POINT

2 四半期純利益の増加により現金及び現金同等物の四半期末残高は増加しており、当四半期末においても十分な額の資金を確保しております。

個別財務諸表



貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当期 平成22年9月30日現在	前期 平成21年9月30日現在	区 分	当期 平成22年9月30日現在	前期 平成21年9月30日現在
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	24,773	23,206	流動負債	9,244	8,659
固定資産	12,757	12,984	固定負債	9,109	9,178
			負債合計	18,354	17,838
			【純資産の部】		
			株主資本	19,126	18,282
			評価・換算差額等	50	69
			純資産合計	19,177	18,352
資産合計	37,531	36,190	負債純資産合計	37,531	36,190

損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当期 平成22年4月～平成22年9月	前期 平成21年4月～平成21年9月
売上高	18,386	17,523
営業利益	844	482
経常利益	985	600
税引前四半期純利益	992	580
四半期純利益	621	367

Corporate Data

会社データ 平成22年9月30日現在

会社概要

創立	大正7年1月
本社住所	〒112-8663 東京都文京区関口2丁目3番3号
資本金	54.51億円
従業員数	763名

役員

代表取締役社長	堀田 直人	取締役相談役	小林 幸雄
代表取締役専務取締役	須藤 孝志	常勤監査役	齋藤 栄助
取締役	鈴木 達也		歌橋 正明
	関谷 信行	監査役	露木 哲夫
	高橋 健征		佐野 正人
	酒井 寛規		
	山田 隆文		
	竹中 勇雄		

(注) 監査役のうち露木哲夫、佐野正人の両人は、社外監査役であります。

会計監査人

清明監査法人

株式の状況

会社が発行する株式の総数	140,000,000株
発行済株式の総数	41,476,012株
株主数	5,503名

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
大鵬薬品工業(株)	13,516千株	32.59%
(株)三菱東京UFJ銀行	2,070千株	4.99%
(株)みずほ銀行	2,070千株	4.99%
ニチバン取引先持株会	1,961千株	4.73%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,671千株	4.03%
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	1,350千株	3.25%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	839千株	2.02%
シービーエヌワイ デイエフエイ インターナショナル	594千株	1.43%
キャップ バリュウ ポートフォリオ		
(株)りそな銀行	577千株	1.39%
第一生命保険(株)	555千株	1.34%

株主メモ

証券会社に口座をお持ちの場合		特別口座の場合
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル)
定時株主総会	毎年6月下旬	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
単元株式数	1,000株	みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	
公告方法	電子公告 (http://www.nichiban.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、 電子公告による公告をすることがで きない場合には、日本経済新聞に掲 載して行います。	お取引の証券会社になります。 未払配当金の支払、支払明細発 行については、右の「特別口座 の場合」の郵便物送付先・電話 お問い合わせ先・お取扱店をご 利用ください。

株主優待制度について

優待制度の目的

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社製品に対する一層のご理解とご愛顧をいただき当社株式への投資魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加促進を図ることを目的としております。

優待制度の内容

- (1)対象となる株主様／毎年9月末の当社株主名簿に記載された株主様のうち、1単元(1,000株)以上を保有する株主様を対象といたします。
- (2)贈呈内容／年1回、対象株主様お1人につき3,000円程度の当社新製品を中心とした「製品詰め合わせ」を贈呈させていただきます。
- (3)贈呈時期／毎年11月中旬頃を予定しております。

贈呈内容の例



ニチバン株式会社

〒112-8663
東京都文京区関口2丁目3番3号
電話: (03) 5978-5601
FAX: (03) 5978-5620

FOR BETTER BEING
いつも笑顔でいたいから——ニチバン

ニチバンに関する情報は
ホームページで
ご覧いただけます。

<http://www.nichiban.co.jp>



QMS EMS
ISO 9001:2000, ISO 14001:2004
JSAQ 117, JSAE 210

当社は、ISO 9001 ISO 14001の
登録をしています。



VOCs(揮発性有機化合物)成分フリーのインキを使用しています。



ミックス品
FSC認証林及び管理された
森林からの製品グループです。
www.fsc.org Cert no. SA-COC-1599
© 1996 Forest Stewardship Council